

<審議内容>

1 開会

2 任命書交付

3 挨拶

4 説明事項

令和8年度つくば市コミュニティ・スクール重点項目について

5 会長・副会長の選出

国府田友康委員を会長に、木塚委員を副会長に選出

6 協議

(1) 学園運営の基本方針について

- ・吾妻学園グランドデザイン説明（吾妻学園長 市村委員）
- ・吾妻小学校グランドデザイン・教育活動について説明（吾妻小学校大村委員）
- ・吾妻中学校グランドデザイン・教育活動について説明（吾妻中学校市村委員）

→両校のグランドデザインを承認

(2) 令和7年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和8年度地域と学校の連携事業予算計画について

(3) 熟議

「吾妻学園が目指す児童生徒像と小中一貫で行っていく手立てについて」

- ① 吾妻小学校大村委員・吾妻中学校市村委員による「令和7年度幸せな学校作りアンケート」の結果説明
→ 課題の共有
- ② 課題に対して取り得る手立てについてグループに分かれて話し合い意見を付箋に書いて模造紙に貼っていく。
- ③ 各グループの検討結果を発表
 - ・ 外の世界を知り、刺激を受けられるようにする。
 - ・ 地域の人材、学校の卒業生などの協力を求める。
 - ・ 学校でのグループワークの一層の推進をする。
 - ・ キャリア教育の充実を図る。
 - ・ 「好き」「楽しい」を入り口にする探究活動の推進をする。
 - ・ 地元の高校生や大学生にCSへの参加を求める。

(4) その他

- ・ 吾妻学園コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
第2回CS協議会 令和8年11月19日（木）
第3回CS協議会 令和9年2月17日（水）

7 閉会

令和8年度第1回吾妻学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和8年 5月21日（木）9：30～

場所：吾妻小学校 会議室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 挨拶

4 説明事項

令和8年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

- ・吾妻学園グランドデザイン（吾妻学園長 市村校長）
- ・吾妻小学校グランドデザイン・教育活動について説明
（吾妻小学校 大村校長）
- ・吾妻中学校グランドデザイン・教育活動について説明
（吾妻中学校 市村校長）

(2) 令和7年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和8年度地域と学校の連携事業予算計画について

(3) 熟議 「吾妻学園が目指す児童像と小中一貫で行っていく手立てについて」

(4) その他

- ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について

7 閉 会



【茨城県】

<学校教育推進の重点>
 「すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり」
 ・カリキュラム・マネジメントの確立
 ・未来を拓く学びの展開
 ・安心して学べる環境の保障

吾妻学園 教育理念(ミッション)

学園教育目標

「一人残らず幸せになれる学校」の実現
 Happy School for All
 (A school where everyone can be happy)

【つくば市】

<市の教育 最上位目標>
 「一人ひとりが
 幸せな人生を送ること」
 ① 教えから学びへ
 ② 管理から自己決定へ
 ③ 認知能力偏重から
 非認知能力の再認識へ

目指す学校

・「安心」と「夢中」がある学校
 ・「つながり」を大切にす
 る学校

目指す生徒の姿

・居場所があり、安心できる(自分らしくいられる)
 ・分かった・できた・もっとやってみたいがある
 ・やりたいことに夢中で取り組む(学び続ける・楽しさ)
 ・他者の違いを尊重し、つながり、支え合える
 ・他者のためになることを考え、実行できる(貢献)

目指す教職員

・子供の事実が見える。
 ・子供に寄り添える。
 ・専門家として、
 自ら学び続ける。
 (自ら求める研修へ)

組織目標
 年間の重点

- ◆「一人残らず幸せになれる学校」の実現に向けて、支え合い、学び続けよう
- 1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくりを通して(聴く・選択・探究・ICT・基礎基本)
 - 2 一人一人の違いを認め合い、お互いに支え合う集団づくりを通して(居場所・安心・自己肯定感・自己有用感)
 - 3 お互いに尊重し合い、支え合い、学び続ける組織づくりを通して(働きがい・働きやすさ・成長)

生徒会
 スローガン

「橋 ~BRIDGE~」生徒会が生徒同士や、生徒と先生をつなぐ架け橋に
 ・困難な障害を乗り越える生徒 ・生徒主体 ・先生と生徒がつながる学校
 ・つなげる=橋を渡って新しい場所へ=挑戦 ・人と人をつなぐ生徒会

【学校経営の重点】

学校経営ビジョン

- 1 小中一貫校の強みを活かす吾妻学園の教育課程の創造
 ・学園の目標に向け、9年間のつながりで子供を育てる。(授業改善・グループワーク・探究・ルールメイキング・地域連携等)
- 2 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業づくり
 ・「聴く」を基盤とした、ペアやグループ、全体による聴き合い学び合う学び(協働的な学び)のある授業
 ・「自分で選択できる」(自己決定)環境がある授業や、探究の要素がある学び(問いや、学び方の選択等)
- 3 つくばスタイル科における「探究する力」の育成
 ・自ら問いを立てる、発信型PBL学習の導入(学び推進訪問を活かした取組)
 ・研究部のリーダーシップによる「探究」カリキュラムの創造
- 4 先進的ICTを活用した学びと校務での活用
 ・「協働的な学び」と「個別最適な学び」を実現するための効果的な活用
 ・Teams等を活用した校務の効率化と、子供と向き合う時間の確保(働き方改革)
 ・時間を生み出す工夫による超過在校等時間45時間以内の達成および月2回の定時退勤日の実施
- 5 安全・安心な学校づくりの推進
 ・ピア・サポートやグループワークによるつながり、支え合う人間関係づくり
 ・通学路・施設の安全確保(点検等)の徹底、リスクマネジメントやコンプライアンスの徹底
- 6 働き方改革の推進と、教職員の資質向上(人財育成)
 ・休憩時間の確保や、余裕を生み出す工夫による超過在校等時間45時間以内の達成
 ・Plant活用と自ら求める研修の充実
- 7 「ともに子供を育てる」をテーマとする学校支援体制や地域との連携の充実
 ・CSやPTAの充実と、協働による学校経営 ・地域リソースの活用

「ともに子供を育てる」をテーマとする、「PTA」と「CS」を核とした学校支援体制の充実

- <PTAとコミュニティ・スクール協議会の運営>
- 地域やPTA・CS協議会・地域学校協働活動・おやじの会 との密な連携(人材確保・学校だより)
 - 保護者同士のつながりを創り、小中の連携、ボランティアによる支援の充実
 - 児童生徒が安心して生活できる環境づくり(通学路等の安全確保、環境整備(除草)、学習支援等)
 - 児童生徒が社会とつながり、地域に貢献できる場の設定や活動の協力



令和8年度 吾妻学園つくば市立吾妻小学校グランドデザイン

吾妻学園教育目標

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる



「一人残らず幸せになれる学校」の実現

Happy School for All (A school where everyone can be happy)

今年度の重点目標 (組織目標)

一人一人のよさを生かし、自己決定を支え合い、対話を通して深く考え、仲間とともに創り出すことを楽しむ児童の育成 (対話・協働・創造)

研究テーマ

子どもたち自身による幸せな学校メイキング

～子どもが進めるウェルビーイングノートづくりとAZUMAプランニングの提案～
R6～R10 (5年間) 茨城県特色ある教育活動パイロット校

学校スローガン

ワンチームAZUMAで、みんなが幸せな吾妻小学校・地域AZUMAをつくる

目指す児童像

- あ①思いやりの心を育むことができる児童
- づ②やりたいことを夢中で取り組める児童
- ま③創り出す・成し遂げることを楽しむ児童

つくば市教育大綱

- 最上位目標
「一人ひとりが幸せな人生を送ること」
- 「教え」から「学び」へ
 - 「管理」から「自己決定」へ
 - 「認知能力偏重」から「非認知能力の再認識」へ



特別支援教育の充実

一人一人がよさを生かし、自分らしく輝ける吾妻小へ ①児童のよさや困り感を把握し、全職員で共通理解

②保護者・関係機関等との連携

③みんなが安全安心な学校生活 (特別支援教育の視点を生かした学級経営・わかりやすい授業)



目指す教師像

一人ひとりのよさや個性を生かし、誰一人取り残さない、働きがいのあるワンチームAZUMAの実現!

- ①子どもを理解し、寄り添う力
- ②子どもが夢中になり、学ぶ楽しさが分かる授業力
- ③さまざまな研修等に積極的に参加し、自分を磨く努力
- ④適切な業務量による心と身体の健康確保 和顔愛語

目指す学校像

PTA・CS・保護者サポーター・ボランティア・おやじの会等との連携、保護者・地域と共に児童を育む活力ある学校

- ①地域にある学校としての情報の発信と受信 (年間を通した学校公開)
- ②計画的な学校評価の実施と活用・公開
- ③保護者や地域の方々と共に教育活動を活性化